

老朽化が著しい八木駅舎と高架橋



活線クラブ 川勝 儀昭 議員

### 高齢者や障害者の方々のためにも 八木駅舎早期改修を

八木駅西區画整理事業と一体的に **市長**

**問** 以前の一般質問においてJR八木駅舎の改修について伺ったが、八木駅西土地区画整理事業と併せての改修計画であるとの答弁であった。しかし、急勾配の階段だけでも改修の必要があると考える。妊婦が片手に荷物を持ち片手に小さな子どもを手を引きながら利用され、高齢者や障害者の方々も苦勞しながら利用されている。佐々木市長の施政方針であ

る「ふるさとに誇りと希望をもち安心して暮らせる、ぬくもりのある町づくり」のためにも階段だけでも早期の改修が必要と考えるが、市長の見解を伺う。  
**市長** 八木駅舎の老朽化も進んでおり、改築を考えなければならぬ。しかし、市内において多くのバリアフリー化を進めなければならぬ個所が多くある。八木駅舎改修は、区画整理事業と併せて考える。

**問** 現在、美山町において地域振興会が運営されている。それぞれの振興会に職員が配置され、1千万円の補助金が出されている。住民自治の観点から見れば、地域の活性化や地域力を高める上で有意義な組織であると考えられる。他の3町においても、それぞれの区や自治会において市政推進に協力している。八木町においても同様の旧村単位の南地区自治会

があり、自ら職員を雇い地域のために運営されている。均衡ある調和の取れた町づくりにおいて、他の3町にも拡充の考えはないのか伺う。  
**市長** 旧美山町において町行政との連携を強める中で推進されてきた。この組織が他の3町において根付くものかどうか、それぞれの地域のみな様方にも検討いただきたい。

多くの観光客が訪れるかやぶきの里



丹政クラブ 仲村 学 議員

### 観光で 地域活性化を

観光協会等と連携を強め推進する **市長**

**問** 観光立国推進基本法が施行され、全国の自治体で観光による経済効果を狙ったまちづくりが盛んになっている。市内の観光受け皿について、ハード・ソフトの両面を再考し、整備することが本市全域の活性化を促進するには重要であると考えるが見解を伺う。  
**市長** 観光の定義が広くなってきた。現在、過疎化が進む地域において、観光振興は経済効

果、また雇用面からも地域活性化にとって重要である。交通アクセスの向上や交流人口の増加をめざし、各地域、各観光協会、近隣のまちとも連携を強め観光事業推進に努める。また、南丹市観光協会の設立も必要であると考えられる。  
**問** 文部科学省から新たな「いじめの定義」が発表された。また、インターネットや携帯電話のメール等での誹謗

中傷も、新たに「いじめ」の分類に加わった。そこで、新たな定義の観点から、市内の各校において適切な対応がとられたのか伺う。  
**教育長** 文部科学省の新たな定義に基づいた調査は行っていないが、生徒指導上、気になる状況はある。基本調査を実施し、その状況を踏まえて調査方法を含め、再調査も検討する。また、インターネット等での「いじめ」は発見しにくいの

で一層きめ細かな実態把握に努める。  
**問** 教育委員会による、「いじめ」の隠蔽をはじめとする不祥事が頻発し、社会問題となっている。教育委員会の存在意義について見解を伺う。  
**教育長** 不祥事については大変遺憾であり残念である。本市の教育委員会は、教育目的達成に粛々と取り組んでいく。

国道477号との接続がまたれる八木第二大堰橋



丹政クラブ 川勝 眞一 議員

### 国道新477号 西田大藪道路の進捗状況は

西田地区の橋梁設計はほぼ完了 **市長**

**問** 道路新設改良事業で一般国道477号西田大藪道路事業が実施されているが、通勤・通学時の交通量が緩和され、地域の産業・経済・生活の交流を支える重要な役割を果たす。第二大堰橋の橋梁上部工が行われているが、今後の進捗状況と方向性および課題と大堰川の広域基幹河川事業改修で、井尻地区が現在の場所に移動され、5年経過するが河川改修事業はストップしたままの状況で

ある。今後の進捗状況について伺う。  
**市長** 現在、第二大堰橋の橋梁上部工を施工しており、本年8月末に完成予定。用地買収もまだ残っているが早期供用開始に向けて京都府も努力している。また、西田地区の計画は、三俣川を横断する橋梁についての設計が、ほぼ完了したと伺っている。桂川改修計画については井尻地区の移動後、本線の合流の官山川護岸工事、三俣川の改修

整備との整合を図り、19年度の計画は順次徐々に整備を進めて行く意向である。  
**問** 南丹市も合併しスポーツ人口も増え、スポーツ振興と発展に寄与する目的で南丹市体育協会が設立され、活躍するスポーツマンがおられるが、もつと輪を広げていただくために、3点伺う。①生涯スポーツを通じて地域スポーツの拡大とコミュニティの推進。②小・

中・高校生の指導・育成。③各地域でのスポーツ指導員の育成について伺う。  
**教育長** 地域スポーツを軸にする生涯スポーツ（地域総合型スポーツクラブ）と、競技団体を軸にする競技スポーツの二つの柱で取り組んでいる。市内のスポーツ少年団は10種類23クラブあり、昨年度から幼・小・中・高連絡協議会が結成され社会体育・地域体育に携わる人材育成に努めている。

設立された人権教育・啓発推進協議会



活線クラブ 藤井日出夫 議員

### 今年度の人権教育・啓発の具体的施策は

人権教育・啓発推進協議会を中心に取り組む **市長**

**問** 人権教育・啓発の今年度の取り組みを具体的に伺う。  
最近の社会情勢は人権にかかわる問題が多い。本市において、今年度の予算案における人権教育・啓発をどうするのか、市長の基本姿勢を伺う。  
**市長** 人権教育・啓発の推進は、本市の大きな柱のひとつと考える。昨年、結成された人権教育・啓発推進協議会を中心に、市民一人ひ

とりがお互いの人権を大切にする心温かな人権尊重のまちづくりに積極的に取り組んでいく。  
**教育長** 教育行政の責務を十分に認識し、人権啓発を進めるとともに、学校教育の現場において、児童生徒の実態を的確に把握し、学力の向上に努める。  
**問** 良好な農村環境の形成や、環境を重視した農業生産への取り組み

みがかもめられている。本年度から新しい農業施策として、農地・水・環境保全向上対策事業の取り組みがもたられているとき、地域農業のリーダー役の人材育成について伺う。  
**市長** 厳しい農業情勢の中、新しい農業施策が示された。本市として積極的に取り組んでいかなければならない。積極的な推進をするための中心的役割を果たすリーダーの育成が重

要であると認識し、人材育成に取り組む。  
**問** 獣害被害が甚大であるが、その対策について伺う。  
**市長** 駆除対策として、本年度は一定の予算計上をした。なお、野生鳥獣被害対策運営協議会と連携を密にし、猟友会のみなさんの意見を十分聞きながら防除対策に努める。